

# 登別市立鷺別小学校 1 日防災学校実施報告

## ● 登別市立鷺別小学校のコンセプト

「自らの的確な判断のもとで、防災・減災行動を取ることができる自立性と自然災害に対して、想定される災害イメージを持ち、具体的な対策を考えることができる情報活用力・創造性」を育む。

## ● 時間割

- 1 時限 防災かるた（～2 時限）（1 年：国語）
- 2 時限 新聞紙スリッパ製作（～3 時限）（2 年：図工）  
避難所生活体験（3・4 年：特別活動）  
災害食づくり（～3 時限）（3 年：総合）
- 3 時限 自然災害から身を守る（5 年：理科）  
災害食づくり（6 年：家庭）
- 4 時限 防災グッズ製作（5 年）  
災害食づくり（6 年：家庭）

〔連携・協力〕

登別市役所、登別市元鬼協議会

<p>① 防災かるた</p> 	<p>② 新聞紙スリッパ製作</p> 	<p>③ 避難所生活体験</p> 
<p>④ 自然災害から身を守る</p> 	<p>⑤ 防災グッズ製作</p> 	<p>⑥ 災害食づくり</p> 

# 第1学年 国語科学習指導案（略案）

日 時 平成30年10月27日（土）1校時（2組）・2校時（1組）

児 童 登別市立鷺別小学校1年生 1組19名 ・ 2組19名

指導者 1組 本山 幸江 2組 山田 紋子

1 単 元 名 「災害から身を守ろう」

2 本時の目標 防災カルタを楽しみながら、防災の知識に関心をもつことができる。

3 展 開

	学習活動	教師の支援と留意点	評価
つかむ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>登別市に住む私たちの身近にある豊かな自然やその風景を想起する。 海、川、山、温泉など</li> <li>東日本大震災の写真や胆振東部地震の写真を見て、自然は災害を引き起こす側面があることを知り、感想を発表する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">災害からの自分の守り方を知ろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>北海 DO 防災カルタの紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「登別にはどんな自然がありますか。」</li> <li>「写真を見てどう思いましたか。」</li> <li>「今日は、カルタを使って、自分たちの身を守るための学習をします。」</li> </ul>	
考える 25分	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループごとに、北海 DO 防災カルタに取り組む。</li> </ul> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>※生活班を基本に5グループ編成する。</li> <li>※読み札は担任が読み、札取りは一斉に行う。</li> <li>※絵札を取ったあと、解説を行う。</li> <li>※解説終了後、次の読み札を読む。</li> <li>※時間まで上記を繰り返す。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「先生が読んだものに合った絵札をとりましょう。」</li> <li>「札の説明をしてから、次を読みます。」</li> </ul> <p>※「読む→取る→解説」の繰り返しで実施すること、切り替えや聞く姿勢について確認する。</p> <p>※勝敗のみが目的にならないよう留意する。</p>	<p>評 読み札の解説を聞きながら、進んで防災カルタ取りに取り組んでいる。</p>
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海 DO 防災カルタを通して新しく知ったことを発表して振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「防災カルタをやったことで、初めて知ったことや、忘れずに覚えておきたいことは何ですか。」</li> </ul>	<p>評 防災カルタから新しく得た知識を振り返っている。</p>

## 第2学年 図画工作科学学習指導案（略案）

日 時 平成30年10月27日（土）第2・3校時  
 児 童 登別市立鷺別小学校第2学年 児童49名  
 指導者 2年1組担任 菊池香織  
 2年2組担任 西多俊

1 単 元 名 「新聞紙スリッパづくり」

2 本時の目標 新聞紙の特徴を生かし、スリッパづくりを行うことができる。

3 本時の展開

	学習活動	教師の支援と留意点
つかむ	① 自然のすばらしさと、自然のおそろしさ（「自然災害」）について知る。 →足をけがさせてしまうかもしれないことに気付く。  ② 課題をとらえる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">しぜんさいがいそなえて、しんぶんしスリッパを作ろう。</div> ③ 学習の流れを確認する。 ・新聞紙スリッパの作り方を知る。 ・班隊形になる。 ・実際に作ってみる。 ・振り返りをする。	・自然豊かな写真と、災害時の写真を掲示し、自然災害の話につなげていく。 ・ICTを活用する。 「自然はすばらしいけど、別の顔もあるんだよ。」 「家の中にいる時に、大きな地震が起こった時、どうしますか？」 「その時、足元はどうなっていますか？」  ※2年生は、上記の内容に簡単に触れ、前時の振り返りを中心に行う。  ・見通しを掲示し、伝える。
考える	④ 新聞紙スリッパを作る。 <sup>【注】</sup> ・班隊形になる。 ・パワーポイントに示されている作り方を基に、作っていく。 ・わからないところは、班の中で教え合いながら作業を進めていく。 <sup>【対】</sup>  ⑤ ④で作った新聞紙スリッパをより頑丈にする作り方を知る。 ※ 時間が余っていたら、応用編（より頑丈にする作業）を実際に行う。 ※ 時間が余っていなかったら、実際には作らず、より頑丈にする方法もあることを伝える。 ⑥ 自分の作ったスリッパを履いてみる。	「実際に作ってみましょう。」 ・パワーポイントを使用する。 ・教師も一緒に作りながら進めていく。 ・机間指導し、作業が難しく支援が必要な児童には、サポートをする。 「できあがったら、班の友達と自分が作った新聞紙スリッパを見せ合いましょう。」 ・児童の実態や時間を見ながら、頑丈にする方法を実際にやるのか、伝えるだけにするのかを判断する。  ・パワーポイントを使用する。
まとめ	⑦ 課題を振り返り、学習をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">しんぶんしを使って、みをまもるためのスリッパを作ることができる。</div> ⑧ 振り返りをする。 <sup>【深】</sup> ・本時の学習でわかったことや初めて知ったことなど、感想を発表する。	「身近なものを使って、身を守ることが大切だね。」  ・今日学習したことの感想を聞く。

# 第3・4学年 総合的な学習の時間 指導案（略案）

日時 平成30年10月27日（土）2校時  
 児童 鷺別小学校3・4年生 児童97名  
 指導者 伊藤 美津子（4年） 百貫 幸映（4年）  
 栗飯原 美香（3年） 中村 康平（3年）

1 単元名 「避難所生活・避難所での眠り方について」

2 本時の目標 被災時に身の回りにあるもので、より快適かつ安全に眠る方法を知ることができる。  
 （情報活用力・協働性・自律性）

3 本校の育成する資質・能力との関係性

本単元では、次の3点を目指す児童の姿とし、この中で情報活用力の育成を図る。

主体的な学び：災害を想定し、自分ができることを考え、行動することができる。

〈見通しをもって活動している〉×振り返って自覚している〉

対話的な学び：災害時の課題を解決にむけて、協働しようとする姿勢をもつ。〈共に課題を解決している〉

深い学び：習得した知識を活用し、自分で行動することができる。〈知識を習得・活用している〉

## 4 展開

	学習活動	教師の支援と留意点	評価
つかむ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震や台風などの災害が起きたとき、どんなことが起きるか考える。【主】</li> <li>停電 断水 家屋の倒壊 家族と離れてしまう等</li> <li>災害時は、どこに避難すれば良いかを知る。</li> <li>※ハザード・マップを提示し、避難場所を確認</li> <li>避難所の生活についてイメージを持つ。</li> <li>避難所の映像を見る。（市役所の方に説明してもらう）</li> </ul> <hr/> <p>㊦避難所での眠り方について考えてみよう。</p>	<p>【担任】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「災害が起きたときに何が起きると思いますか。」</li> <li>「地震や台風などの災害がおきて、住む場所が壊れてしまったらどうしますか。」</li> <li>「寝るときはどうするの？」</li> <li>「お風呂はどうするの？」</li> <li>「食事はどうするの？」</li> <li>「…」</li> </ul>	
考える 20分	<p>①避難所では、どのように寝るのかイメージを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・床に寝る</li> <li>・毛布で寝る など</li> </ul> <p>⇒座りながら寝る・実際に床で寝る</p> <p>②より快適に過ごすためにはどのようなことができるか考える。【主】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「避難所ではどのように寝るのかな？」</li> <li>・体育館の床に寝た感想を聞く。</li> <li>・「より快適に寝るためには、どんなことができるか考えてみよう。」</li> </ul>	<p>【評】実体験を通じて、より快適に寝る方法について、考えをだすことができる。</p>
まとめ 15分	<p>③段ボールベッドの設営体験をする。【対】【深】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段ボールベッドについての説明（市役所の方から）</li> <li>・段ボールベッドの設営</li> <li>※10人くらいのグループを作る</li> <li>3年 4グループ 4年 4グループ</li> <li>体育館に8つのベッドを作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなで協力し、話し合いながら、段ボールベッドを組み立ててみよう。」</li> </ul>	<p>【評】協働して、作業に取り組むことができる。</p>

### 留意事項

※市役所の防災担当の方に協力していただく。

※児童のワークシートを準備し、気づいたこと、わかったことを書かせる。

5年一日防災学校 理科：私たちの暮らしと防災（3時間目）

(1) 本時の目標

水害に対する本市、鷺別地区の対策について知る。

過程	学習の流れ	○ 教師の主な働きかけ	
		留意点	
つかむ	1 私たちの街の水害についての話 東書) 新しい理科5 P84~85	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">私たちの町、 鷺別の災害対策について知ろう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">洪水・土砂マップから わかることはなんだろう</div>	○災害についての備えとして、 市のハザードマップから読み解く学習であること
	2 問題をとらえる。		○生活に役立つ学習であることを伝える
	3 課題提示		○資料1 洪水・土砂マップ 鷺別・美園・若草・新生地区
	4 わかること（読み取れること）は何だろう。		○資料2 北海道太平洋沿岸の「津波浸水予測図」
考える・深める	5 グループで相談して書き出してみる ・(その1)洪水・土砂 災害マップ		○読み取れることを、ノートに書き出す。
	6 発表する (予想される発言) ・鷺別小は避難所になっている ・川の周りが危ない ・若草には土砂崩れの予想もある(沢) ・急な斜面は崩れる危険あり  ・(その2)津波浸水予想図を提示 津波を想定したCG動画 津波の広がる様子をみて感想発表		○TVでCG動画を見せる ・地震想定は、十勝沖
まとめる	7 まとめる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">鷺別地区は、海に近い → 津波への心構え 鷺別地区には、川もある → 近づかない</div>	○これまでの話をまとめる
			
広げる	8 この間の停電の時、放送を続けた人たちがいました。(FMびゅーの話)		○新聞記事の紹介 ○資料3 新聞記事と写真 60時間継続して放送し続けた

<板書計画>

10/27	<p>災害時の食事について</p> <p>○問 私たちの町、 鷺別の災害対策について知ろう</p> <p>○課 洪水・土砂マップから わかることはなんだろう</p> <p>&lt;1 洪水・避難所マップから&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が避難所になっている</li> <li>・川の周りが危ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若草には、土石流の予想もある</li> <li>・急な斜面は崩れそう</li> </ul> <p>&lt;2 津波・浸水マップから&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し、何回かくるみたい</li> <li>①最初の波がくる30分以内に逃げる</li> <li>②1時間後にまたくる</li> <li>③まだ、くる？</li> </ul>	<p>○ま 鷺別は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海に近い</li> <li>・川もある</li> </ul> <p>→近づかない</p> <p>津波</p> <p>→慌てないで</p> <p>逃げる</p>
-------	--	--	--

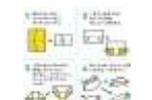
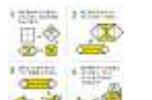
5年一日防災学校 学活：災害時にスープを飲もう（4時間目）

(1) 本時の目標

災害時に身近な材料を使って器を作り、スープを飲むことができることを学ぶ。

過程	学習の流れ	○ 教師の主な働きかけ
		留意点
つかむ	1 災害時の食事について考える …という学習です	○災害の時の食器について 自分たちで器を作ってスープを飲む活動。
	2 問題をとらえる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">食器がありません。どうしたら、このスープを飲むことができますか？</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">朝のうちに、コーンスープを用意しておく。4Lの水に溶くタイプの物を使用した。熱々の鍋を持って、教室へ</div>
	3 課題提示 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">身の回りの物で器を作ろう</div>	○生活に役立つ学習であることを伝える
	4 見通しをもつ	<準備>新聞紙・チラシ
考える・深める	5 材料は？ 新聞紙 そのまま入れる？ ビニールをかける 熱くないのか？ やってみよう！	○資料1 コップの作り方  ビニール袋をかけて試飲させる ※保護者さんも一緒に！  ○資料2 カレー皿・平皿の作り方
	6 新聞紙で紙コップを作ります (作り方の説明) ・折り紙で折る方法と同じ  ・でき次第、スープを入れ飲んでみる 思ったより熱くない  ・(その2)カレー皿・平皿もやってみよう	
まとめる	7 まとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">器は、いざというとき、身の回りの物を使ってつくることできる</div>	○避難所では、君たちにもできることがある
	8 資料配付 ・北の災害食 ・地震が来ると・・・	○この機会に、家族で話してみましよう

<板書計画>

10/27	<p>災害時の食事について</p> <p>○問 食器がないときは、どうやってスープを飲めばいいのでしょうか。</p> <p>○課 身の回りのもので、器をつくらう。</p> <p>&lt;材料&gt; 新聞紙 紙 カップラーメンの器 牛乳パック など</p> <p><u>ビニール袋 or ラップ</u> をかければ OK！</p>	<p>では、やってみましよう。</p> <p> (折り紙コップの作り方)</p> <p>その他に、覚えておくといいのは…</p> <p> (カレー皿)</p> <p> (平皿)</p> <p>○ま いざというとき、身の回りのものを使ってつくることできる</p>
-------	---	---

## 第6学年 家庭科学学習指導案（略案）

日 時 平成30年10月27日（土）3・4校時  
 児 童 6年1組 28名 6年2組 28名  
 たんぽぽ 2名 はまなし 1名  
 指導者 1組担任 南川哲朗 2組担任 神馬 茜  
 T T 大江康道

- 1 単元名 「災害食を作ろう」  
 2 本時の目標 被災時に身近にある材料で、災害食を作り食事の大切さを知ることができる。

### 3 展開

	学習活動	教師の支援と留意点	評価
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震や台風などの災害が起きた時、ないと困る物は何か考える。</li> <li>食べ物 水 電気 等</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           災害食を知り、作ってみよう。         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の発言から、食べ物に着目させる。</li> <li>電気や水道が止まりいつものようにご飯を作ることができない時、食事はどうなるのか？ 「米」「うどん」「カップ麺」「缶詰」「お菓子」「避難所で用意されている」</li> <li>災害食はどんなものがあるのか。</li> </ul>	<p>評 災害がおこったら普段通りの生活ができなくなり、食事も作れなくなることに気付く。</p>
考える・深める	<ul style="list-style-type: none"> <li>作り方の説明を聞く。</li> <li>身支度 手洗い</li> <li>材料、用具の準備</li> <li>手順に従って、調理する。</li> <li>安全と衛生に注意する。</li> <li>煮ている間、災害時に炊き出しを行った団体の方の講話を聞く。</li> <li>試食</li> <li>机を整えて試食する。</li> <li>片付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理の手順を説明する。</li> <li>「ハイゼックス」の使い方について説明する。</li> <li>安全面（ガスコンロの扱い方）に気を付けるよう助言しながら、指導する。</li> <li>出来上がりは熱いので火傷に注意するよう補助する。</li> </ul>	<p>評 災害食について理解し作ることができる。</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来具合を振り返り、感想発表する。</li> </ul>		